



木下
きした
ただし

正
議員



外来生物・野生鳥獣
対策の強化

問 袋井市鳥獣被害防
止計画の進捗状況は
どうか。

答 昨年度の農作物被
害金額は約164万
円、被害面積は約189ア
ールとなり、被害を抑える
ことには至っていない。県
や西部猟友会袋井支部と連
携し、効果的な有害鳥獣対
策に努めていきたい。

問 外来生物法の「入
れない・捨てない・
拡げない」の3原則を広め
ることが重要。啓発活動の
展開を伺う。

答 市ホームページや
メローねっとでの周
知、環境月間に合わせた市
役所や図書館での展示、市
民ボランティア団体、市民
環境ネットふくろいによる
出前エコ教室での外来生物
に関する講座などにより、
市民への周知啓発に努めて
いる。



外来種スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)

スポーツによるまち
づくりの深化と拡張

問 第5次袋井市スポ
ーツ推進計画では、
eスポーツをどのように位
置付けているのか。

答 デジタル技術を身
体活動に活用した仮
想空間でのスポーツ体験な
どは、健康促進やアスリー
トの育成、共生社会の実現
などに期待される重要なツ
ールとして捉え、本計画に
も反映していきたい。



兼子
かねこ
やすき

靖基
議員



リビングラボによる
共創型のまちづくり

問 コアメンバーの育
成や体制整備につい
てはどうか。

答 企業や金融機関、
大学、行政、市民お
よび市民活動団体で活躍す
るメンバーで構成するリビ
ングラボ研究会の設置が承
認された。社会や地域の課
題を解決するための共創プ
ラットフォームの構築を促
し、民間の発意を起点とし
た、自走できる持続可能な
ビジネスの創出を研究、推
進していきたい。

問 ふくろい型リビン
グラボのテーマは。

答 本年度進めている
「2961スマート
農業プロジェクト」をトリ
ガープロジェクトとして位
置付けている。今後、さま
ざまなニーズや課題を、リ
ビングラボの手法により、
持続可能なビジネスへとつ
なげてまいりたい。



スマート農業のイメージ

創業支援などの市
の役割についてどう
考えるか。

問 共創やリビングラ
ボという新しい概念
をより多くの方にご理解い
ただけるよう、地域内への
普及啓発が必要だと考えて
いる。コワーキングスペー
ス「ベース」などの活用を
はじめ、誰もが集まり、対
話できる場を充実させ、共
創による地域づくりが実践
しやすい環境を整えること
が、市の役割と支援の在り
方であると考えている。

答 共創やリビングラ
ボという新しい概念
をより多くの方にご理解い
ただけるよう、地域内への
普及啓発が必要だと考えて
いる。コワーキングスペー
ス「ベース」などの活用を
はじめ、誰もが集まり、対
話できる場を充実させ、共
創による地域づくりが実践
しやすい環境を整えること
が、市の役割と支援の在り
方であると考えている。



金子
かねこ
てるひさ

晃久
議員



空き家対策と利活用

問 セミナーや個別相
談会に参加された方
の反応や結果は。

答 セミナーや相談会
は、空き家の解消や
利活用に向けて所有者など
を後押しする有効な機会で
あり、参加者からは好評を
頂いている。令和4年度・
5年度のセミナー参加者が
所有する空き家46戸のうち
現在までに11戸が解体や流
通につながっている。

問 空き家分布調査の
実施による実態把握
の進捗状況は。

答 来年度末までには、
空き家の所在地や所
有者などの情報を整理した
空き家台帳を作成すると
もに、新たな空き家所有者
に対し意向調査を行って
いく予定である。

空き家の利活用
に向けたリビングラボ
の発想による展開は。

問 空き家を地域資源
として活用すること
は、人口減少・少子高齢社
会において、新たなにぎわ
いの創出など、地域の魅力
の向上につながる非常に重
要な取組と認識している。

答 リビングラボの発想を生か
しながら、利活用に向けた
仕組みづくりに着手してい
きたい。



空き家の問題